

活動状況報告書（12月分）

学生留学コース 藤原 香夏

12月のエドモントンは昨年と比較して気温が30°高く、北海道よりも温かい日が続き、雪が一切ないクリスマスを迎えました。

さて、今月は9月から始まった秋学期の期末試験がありました。この4カ月間では、レジャーやツーリズムにおける人間の行動心理や、地域レベルのレジャー活動とツーリズムそれぞれに人々が求める価値の相違点、観光供給やサステナビリティを取り入れ将来を見据えた今後の観光の在り方等、日本の所属大学では開講されていない授業を履修することで、まさに留学中に学びたいと考えていた分野を学び、新たな知識を得ることができました。

単位取得を目指していた”Leisure And Human Behavior”の授業では、無事に期末テストを通過し、単位を取得することができました。留学前は授業を履修し単位を取得することが自分では想像ができないほどに不安要素が多くありましたが、1年間の留学を通じて英語のスキルはもちろんのこと、忍耐力、積極性、コミュニケーション能力などの成長も感じています。

プログラムの修了式にて修了証書をいただいたときには、留学がもう終わってしまうというさみしさと、1年間困難なことも多くありましたがそれらを乗り越えた達成感がありました。

この1年間のカナダでの経験は、みらチャレによる皆さんの支援が無ければ決して得ることができなかった私にとってかけがえのないものです。ここで学んだ知識や経験は、北海道の今後の発展に還元していきたいと考えています。1年間という長期にわたり私を支援してくださったみなさんに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

